

ながの環境パートナーシップ会議
第 6 回 幹事会 会議記録

日 時 平成 22 年 3 月 24 日 (水) 18 時 10 分から 20 時 20 分

場 所 会議室 6 (市役所第二庁舎 4 階)

出席幹事 13 人

(高木、塚田、弓場、佐々木、高野、田中(昭)、傳田、橋本、堀池、水野、峯村、山口、渡辺)

欠席幹事 3 人

(河西、田中(守)、錦織、)

会議内容

1 プロジェクトチーム(以下、「PT」)の活動状況と今後の活動について

(1) 活動状況

「環境総合センター」設置PT、学校版環境マネジメントシステム導入PT、生ごみの削減・再利用システムの構築PT、食品トレイ・レジ袋使用削減PT、市民の森づくりPT、太陽エネルギー普及促進PTから活動記録票提出

(2) PTからの報告、協議等

学校版環境マネジメントシステム導入PT(P4)

青木島小学校と七二会中学校を認定した。

3月に「えこねくしょん」号外を発行し、市内の小中学校に配布した。

生ごみの削減・再利用システムの構築PT(P6)

幹事会の状況をPTに持ち帰り報告しているが、活動記録のとおり本PTから幹事会に対し様々な意見が出されている。

太陽エネルギー普及促進プロジェクト(P10)

新規事業の予算のうち62,000円を流用し、ソーラークッカー(大)及びPT横断幕の購費用に充てたい。承認

購入後のメンテナンス等を考慮し、ソーラークッカー(大)は、国産のもの(工房あまね製、定価176,400円)を購入したい。(ソーラークッカー(小)は、購入せず、NPO法人みどりの市民から借用する。)

2 ニュースレター「手をむすんで」について(P11)

原案承認

3 信州大学工学部「地域環境演習」について(P12)

4 新規プロジェクトについて(P13)

申込みの際、氏名、連絡先にあわせ、関心のあるテーマを伺う。

チラシ中「検討テーマ」を一般的なものにする。

5 組織について(P17)

幹事会規程案の第3条(代理出席)、第7条(PT担当幹事)を削除、第5条(会議の公開)、第6条(議案の提出)、第8条(関係者の招集)、第9条(陪席者)を整理の上、次回再協議する。

今後の日程等

1 正副代表幹事会

日時・場所 4月15日(木)18:00~ 環境政策課

2 地域環境演習ガイダンス

日時・場所 4月19日(月)17:30~18:30 信州大学工学部

(P会議概要説明、ワークショップ趣旨説明、プロジェクトチーム紹介)

3 第7回幹事会

日時・場所(案) ~~4月20日(火)18:00~ 会議室10(市役所第二庁舎6階)~~

~~4月22日(木)18:00~ 会議室17(市役所第二庁舎10階)~~

4月23日(金)18:00~ 会議室18(市役所第二庁舎10階)

内容(予定) プロジェクトチームの活動状況と今後の活動について、平成21年度活動報告、平成22年度活動計画についてほか

4 ワークショップ

(1) 日時・場所 4月25日(日)9:00~12:30 信州大学工学部

(2) 内容 P会議について、ワークショップ、幹事会

5 地域環境演習ガイダンス

日時・場所 4月26日(月)17:30~18:30 信州大学工学部

(プロジェクトチーム紹介)

6 正副代表幹事会

日時・場所 5月17日(月)18:00~ 環境政策課

7 幹事会

日時・場所(案) ~~5月24日(月)18:00~ 会議室18(市役所第二庁舎10階)~~

~~5月25日(火)18:00~ 会議室18(市役所第二庁舎10階)~~

5月26日(水)18:00~ 会議室18(市役所第二庁舎10階)

~~5月27日(木)18:00~ 会議室17(市役所第二庁舎10階)~~

~~5月28日(金)18:00~ 会議室18(市役所第二庁舎10階)~~

内容(予定) プロジェクトチームの活動状況と今後の活動について、平成21年度活動報告、平成22年度活動計画についてほか

8 監査、正副代表幹事会

日時・場所(案) 6月1日(火)18:00~ 会議室17(市役所第二庁舎10階)

6月2日(水)18:00~ 会議室17(市役所第二庁舎10階)

6月3日(木)18:00~ 会議室17(市役所第二庁舎10階)

9 第2回総会

(1) 日時・場所 6月5日(土)9:30~ 長野市ふれあい福祉センター5階ホール

(2) 内容 平成21年度活動報告・平成22年度活動方針・活動計画についてほか

その他

1 平成21年度活動報告、平成22年度活動計画、予算要求書等の提出~4/4

2 信州大学工学部「地域環境演習」受入れ可能人数の連絡~4/8

3 ボランティア活動保険の申込み(Aプラン@280円×100人(会員数) 28,000円)

主な質疑

学校版環境マネジメントシステム導入PT

- ・青木島小学校と七二会中学校を認定した。3月に「えこねくしょん」号外を発行し、市内の小中学校に配布した。

今年度中にもう一回「えこねくしょん」号外を発行する予定

生ごみの削減・再利用システムの構築 P T

- ・幹事会の状況を P T に持ち帰り報告しているが、本 P T から幹事会に対し様々な意見が出されている。例えば、以前に比べ、P T と幹事会との距離が遠くなったという意見があった。

太陽エネルギー普及促進プロジェクト

- ・1月の幹事会で、ソーラークッカーの購入について承認を得たが、購入後のメンテナンス等を考慮し、ソーラークッカー（大）は、国産のもの（工房あまね製、定価 176,400 円）に変更したい。このことに伴い、新規事業の予算のうち 62,000 円を流用し、ソーラークッカー（大）及び P T 横断幕の購費用に充てたい。

資料では、90,000 円の流用となっているが、ソーラークッカー（小）は、同等品を N P O 法人みどりの市民から借用できることになったので購入しない。そのため、約 28,000 円減額する。

承認

ニュースレター「手をむすんで」について

- ・資料（P11）により説明。
新たに、関連団体の紹介（5面）を追加したい。具体的には、信州大学教育学部の渡辺教授の取組み等を紹介したい。
5面よりも、裏表紙となる6面の方が目立つ。5面と6面を入れ替えてはどうか。
- ・各頁の文字数等を教えてほしい。
執筆者に依頼する際に伝える。
- ・コストを考えた場合、8面の方が安く上がると思うがどうか。
コスト的には6面よりも8面とした場合の方が安いことは承知しているが、掲載する内容に限りがあるため6面とした。
- ・4面に「その他」とあるが、ここは、例えば、みどりの基金¹の「みどりのサポーター」募集や枝廣淳子氏²のメルマガ等の環境関連情報を紹介するコーナーとしてはどうか。
環境関連情報の提供には、タイミングを考えなければならない。可能な限り対応していきたい。

信州大学工学部「地域環境演習」について

- ・ガイダンスは、(1)から(3)までであるようだが、学生は全てに出席するのか、それとも選択性なのか。
原則として、受講する学生は、全てのガイダンスに出席する。

1 セブンイレブンみどりの基金については、<http://www.7midori.org/index.html> 参照

2 枝廣 淳子（えだひろ じゅんこ）：東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。2年間の米国生活をきっかけに29才から英語の勉強をはじめ、同時通訳者・翻訳者・環境ジャーナリストとなる。環境問題に関する講演、執筆、翻訳等の活動を通じて「伝えること、つなげること」でうねりを広げつつ、行動変容と広げるしくみづくりを研究。地球環境の現状や世界・日本各地の新しい動き、環境問題に関する考え方や知見を環境メールニュースで広く提供している。（<http://www.es-inc.jp/>より転記）詳しくは、WEBページ参照

新規プロジェクトについて

- ・合計いくつのプロジェクトを実施するのか。
制限は設けていない。
- ・ワークショップの時間が短いのではないか。
担当幹事の打合せの中でもそのような意見が出された。しかし、昼をまたいで...ということになると、ハードルが高くなってしまう。また、ワークショップの時間が短いために、予めテーマを示すことにした。
時間を長くすれば、良い案ができるというものではない。
時間が限られているので、事業予算については、別途事務局と相談の上、幹事会へ報告・協議する方法とした。
短い時間で事業計画を作成するには、ファシリテーターの役割が重要になる。
ファシリテーター用の進行表を作成してほしい。
- ・審査基準に「楽しめるようなものか」等あるが、楽しいだけで良いのか。
「P会議の目的に沿ったものか」が一番重要である。例えば、点数化する場合、この項目の配点を高くすることが考えられる。
- ・P会議の会員は、これまで何らかの環境保全活動を行ってきている。そのため、現在の環境保全活動の問題等を把握していると考えられる。良い案を持っている可能性が高い。
ワークショップには、P会議会員も参加してほしい。
- ・新規プロジェクトは、「短期のものを優先」としていたが、長期のものは採択されないのか。
そのような制限は設けていない。当面の目標として、今秋までに何らかの成果を...と考えている。その後継続するか否かは、その時に判断すれば良いのではないか。
- ・テーマが分かりにくい。
アジェンダのテーマを掲載したもの。
「地球温暖化対策」や「新エネルギー」等が含まれていない。
チラシへは、一般的なテーマを掲載する。
- ・申込み時に、「関心のあるテーマ」を聞いてはどうか。
申込書に、「氏名、連絡先」に加え、「関心のあるテーマ」を記入してもらう。
- ・申込みの期限はあるのか。
4 / 23 (金) とするが、当日参加も可能とする。
- ・名札を用意できるか。
市民の森で木製のネームプレートを用意できる。事務局でマジックを用意してほしい。
- ・予算等は、後日とのことだが、どのようにするのか。
ワークショップ当日、メンバー表を配付する予定。後日、メンバーが集い、現在のPTのようにミーティングにより、予算等計画の詳細を詰めてもらう。
予算案の作成に当たっては、事務局で支援する。
- ・ワークショップ後、自分がいたグループ以外のプロジェクトに参加することは可能か。
可能。一人一プロジェクトに限定する必要はない。
- ・4 / 25 (日) 当日、幹事会を開催することになるが、定足数は満たされるのか。
8人以上参加可能

組織について

- ・議案は、PTは、幹事を通じ事務局へ提出し、幹事会に提出するということが。
第6条は、そのようになっている。

- ・幹事会の役割は、P会議全体の運営だと思う。第7条のPT担当幹事の規定には、違和感を覚える。

これまでの計画推進委員会小委員会のように、定期的にPTリーダーの会議を開催してはどうか。そして、その代表者が幹事会へ出席するようにしてはどうか。

このようにすれば、PTの横のつながりができる。

PTリーダーの会議を設けたとしても、そこには何の決定権もない。

PTの横のつながりというが、定期的にはではなく、必要に応じて開催すればよいのではないか。

PT間の情報交換ができる。

PTの情報等を共有できるように、ホームページやメルマガを設けている。これらが役に立っていないということなら、別途検討が必要である。

情報交換のみのためにPTリーダーが定期的に来るとするのは、難しいのではないか。

- ・予算等の重要事項は、幹事会で確認の上、総会で決定することになる。このことからすると、幹事がPTを担当するというのは合わない。

予算や事業計画等を、PT担当幹事又はPTリーダーの代表を通じて、間接的に説明を受けるよりも、PTリーダーから直接説明された方がよい。

幹事会にPTリーダー等PTの代表者が出席できるようにしてはどうか。

- ・平成21年度P会議組織図に、「顧問、代表幹事補佐」とあるが、会則上の「顧問」は、ここに位置付けられるものではない。また、「代表幹事補佐」という役職はない。現在、山口氏には、旧会則でいう「アドバイザー」に相当することをやっていたので、このように位置付けた。

これまでの議論からすると、PT担当幹事は置かないことに異議はないのではないかとされる。また、現在の会則等に無い役職名を用いると誤解を招くおそれがある。これらのことから、19頁の図は、議論のためのものとし、今後は、用いないものとする。

- ・第3条に代理出席の規定があるが、幹事会は、法人に当てはめれば取締役会である。通常取締役会に代理出席はあり得ない。

また、このことは、会則で扱うべき事項ではないか。

第3条は削除する。

幹事会規程案については、第3条代理出席、第7条PT担当幹事の規定を削除、第5条会議の公開、第6条議案の提出、第8条関係者の招集、第9条陪席者の規定を整理したうえ、次回幹事会で再協議する。